































チャレンジ項目記入数

15

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		・『資源を大切に』をスローガンに地球環境に配慮し、関心を持つよう周知している。 ・社員一人一人が技術集団として地域社会へ貢献できるよう日々努力している。								8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・月1回の会議でコンプライアンスについて社長より従業員に向け発信している。 ・不法投棄の禁止について従業員へ周知徹底している。																16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・入札制度に基づき公正な取引を実施している。 ・採石販売については1社のためのため競争がない、また採石業組合にて定められた金額にて公平に取引を行っている。										10						16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・社長自らが担当者となり、自社の事業活動が社会や環境に及ぼす正と負の影響を把握し、正の影響については強化し、負の影響については抑制に取り組んでいる。																16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・これまで培ってきた技術や経験、特に火薬の取り扱いのノウハウについての知的財産保護に取り組んでいる。								8.2 8.3	9							16		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・顧客情報についてはパソコン上のソフトで管理を徹底している。 ・従業員に対してSNS等で個人情報を発信しないよう会議の際に周知している。																16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	●		・『お客様優先』をモットーに工事前と後に近隣の方へ挨拶回りを実施し、お客様の声を大事にしている。 ・クレームが少ない会社として誇りをもって仕事をしている。 ・発注者と積極的なコミュニケーションを図ることで円滑な工事を実施している。															16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●	・くりの実会の受け入れ実績があり、人権侵害の防止について取引先とも意見交換を実施し共有している。					5				8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	・災害情報共有システムを活用し、熊本県や熊本県建設業協会と連携し年1回訓練を実施している。 ・災害等に備え自主防災組織等のBCP策定や経済産業省の「事業継続力強化計画」の認定を取得している。 ・自社の山林に雨量計、サイレンを設置し、精度の高い防災対策を実施している。										9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	・事業承継セミナーの参加や経営コンサルタント、税理士に相談して事業承継について検討し、経営についても一部引継ぎをしている。									8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●			1	2			5				8			12	13	14	15	16	17


















チャレンジ項目記入数

15

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・差別やハラスメントの禁止について就業規則に定め、差別しない体制を徹底している。 ・職場で相談受付担当者を任命し、ハラスメント等について相談しやすい環境整備を行っている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・労働安全衛生講習会を実施している。 ・血圧計の設置や塩飴常備により安全対策を徹底している。 ・相談受付担当者を任命し、メンタルヘルスについて男女共に相談しやすい環境を整えている。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・正社員、パート全ての従業員に公正な待遇を行い、就業規則に明文化している。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・36協定に基づき時間管理を徹底し、残業は基本行わない。 ・働きやすい職場環境のため時短勤務制度や時差出勤制度を導入し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・研修や勉強会への積極的な参加を促し、資格取得を推奨している。その為に資格取得及びキャリアアップ等の費用を会社が全額負担し、受験日は、特別休暇を与えて有給扱いとして会社が支援する。 ・リーダー育成の取り組みとしてKYコーディネーターの資格取得を推進している。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・毎日朝礼を実施することで従業員の顔色や健康について確認している。 ・年1回の健康診断の経費補助を行い、結果についても個別指導を実施している。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・昇給や昇格等に人種や性別などの差別的待遇はない。 ・多様な人材が活躍できるよう就業規則を変更し、再雇用できる体制を構築している。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●				3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	・測量機器についてはトランシットを使用しデジタル化に取り組んでいる。 ・現場での写真等についてはパソコンにて管理することで全社員が情報を共有でき、業務効率化に繋がっている。 ・熊本県と情報共有システムを活用している。 ・ドローンを活用し業務効率化できるよう社員と共有している。								8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●	・ブライト企業に認定されている。			3	4				8	9			12					


















チャレンジ項目記入数

15

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																							
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・有害化学物質を把握し、適切な分別・管理・処理に取り組んでいる。 ・不法投棄の禁止について従業員へ周知徹底している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・軽油と灯油については自社のスタンドにて使用量を管理している。 ・建設機械については特定特殊自動車排ガス規制等に関する法律に基づいた特定特殊自動車を導入している。 ・事務所についてはLED照明を使用する他、営業車2台はハイブリット車を使用しエネルギー削減に取り組んでいる。 ・CO ₂ 排出量算定システム「炭削くん」を活用し、エネルギー使用量を算定し削減に取り組んでいる。							7.3					13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・営業車2台はハイブリット車を使用する他、営業車の削減によって、CO ₂ 排出の削減に取り組んでいる。 ・CO ₂ 排出量算定システム「炭削くん」を活用し、二酸化炭素排出量を算定し削減に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・分別を徹底し、産廃で出たブルーシート等を再利用しプラスチックゴミの削減に取り組んでいる。 ・自社整備工場にて出る古タイヤ、金属くず、廃油等は適正に処分を委託することで環境に悪影響を及ぼさないよう配慮している。 ・産業廃棄物協会の依頼により河川や山等で不法投棄のパトロールを実施することで環境問題を意識し行動している。						6.6							14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・再生用紙を利用している。 ・裏紙の使用を促進し、メモ等に活用している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・井戸水を使用し、水質検査を年2回実施している。 ・水道の蛇口はしっかり閉めることを徹底している。 ・節水機能が付いた最新の洗濯機を導入し、節水に取り組んでいる。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5		14.1 14.2 14.3	15		17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・再生クラッシャーランの販売により資源循環へ貢献している。 ・産業廃棄物の処理場において煙が出ない機械を導入し環境に配慮している。 ・再生紙を使用している。									9.4		12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●			1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	・事務所や現場に花植えや植栽を行っている。												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。		●	・建設機械については特定特殊自動車排ガス規制等に関する法律に基づいた特定特殊自動車を導入しエネルギーの見直しに取り組んでいる。 ・事務所についてはLED照明を使用し、節電に取り組んでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●							6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●							6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●	・産業廃棄物協会の依頼により河川や山等で不法投棄のパトロールを実施している。												12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2	

チャレンジ項目記入数

15

分類	No.	チェック項目	基本	チャレ ン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・採石については熊本県技術センターや中央土木コンサルティングに骨材の試験表を提出し、安全性証明を取得している。 ・試験結果に基づき生コンやコンクリート等の材料を仕入れている。 ・品質向上のためお客様の声を大事にしている。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・現場においては昇降階段に手すりを設置している。 ・現場の看板についてはわかりやすい表記を徹底している。 ・外国人用に通訳用の変換器を設置している。									9.1	10	11.7					17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・骨材については熊本県産の材料を地元企業から仕入ている。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	・本社事務所の改修工事として木材を使用し、木質化を推進している。							7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・コンクリートくず等を活用し製品の開発に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。		●			2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・熊本県建設業協会阿蘇支部を通じて熊本県、阿蘇市と災害協定を締結している。 ・現場や事務所周辺の清掃活動ボランティアを従業員全員で実施している。 ・子ども110番に登録し、近所の子供が安心して通学できるよう心掛けている。 ・警察と連携し、会社の車に「安全パトロール」のシールを貼ってパトロールを実施している。 ・防犯カメラを設置し、警察への協力体制を構築している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・各現場ごとに避難訓練を実施している。 ・緊急避難場所やハザードマップを周知している。 ・災害情報共有システムを活用し、熊本県や熊本県建設業協会と連携し年1回訓練を実施している。 ・防災グッズとして電池、蓄電池、飲料水等を常備している。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・AED講習を受講し緊急事態に対応できるようにしている。 ・地域事業者として、緊急事態の避難場所に事務所を開放している。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・金融機関と連携し、社員へ定期的にSDGsの普及啓発のため教育の機会を提供している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・高校生のインターンシップの受け入れや出前事業を積極的に行っている。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・地元高校4校へ定期的な求人募集しており積極的に地元の学生を雇用している。				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●			2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17